

第12期短期講座「日本伝統芸能と音楽の世界」：北見先生の第7・8回講義レポート

第7回講義は11月13日(水)クリエイトセンター204・205 教室で行われた。

第7回人形浄瑠璃と新作～文楽座の登場

人形浄瑠璃の魅力とその発展について、北見先生がその奥深い世界を熱く解説されました。江戸時代から続く人形浄瑠璃の歴史や特徴に加え、文楽座の盛衰の解説、作品の一部を映像で鑑賞し、浄瑠璃の奥深い世界観に魅了されました。

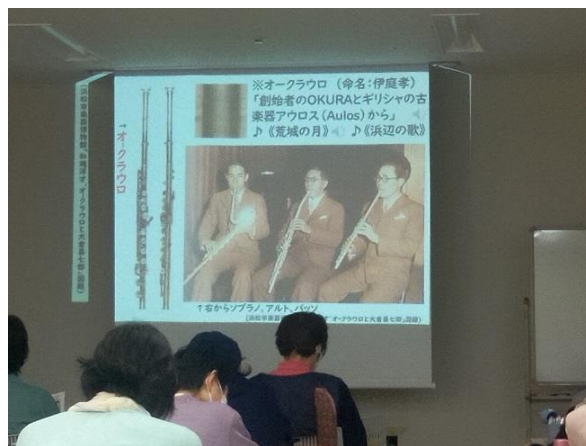


第8回講義は12月11日(水)クリエイトセンター204・205 教室で行われた。

第8回日本楽器の発明と改良～驚きと憧れと

古代からの日本楽器がどのように発明され、改良されてきたかが具体例を交えて学びました。日本楽器が西洋音楽とどのように影響しあい、独自の改良が加えられたのかも興味深いものです。

尺八の進化や箏の弦の改良など、幻の音源から意外な工夫や技術が紹介されました。



次回も引き続き日本の音楽や伝統に触れる貴重な講義が予定されています。受講生の熱い参加に支えられているこの講座、次回もどうぞお楽しみに！